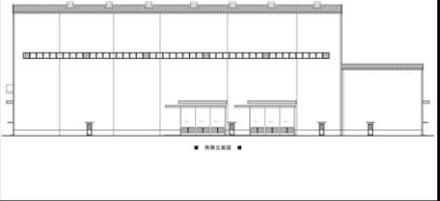


# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新電気炉建屋 建設工事	階数	地上2F
建設地	高砂市梅井5丁目6番1号	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火指定なし	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	0時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年12月 予定	評価の実施日	2022年10月20日
敷地面積	381,176 m <sup>2</sup>	作成者	磯野 喜之
建築面積	3,176 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	3,606 m <sup>2</sup>	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.0</b></p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。</p>	

**2-4 中項目の評価(バーチャート)**

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア = 3.0	Q2のスコア = 3.6	Q3のスコア = 2.8
音環境: 1.8, 温熱環境: 3.0, 光・視環境: 2.7, 空気質環境: 4.1	機能性: 3.7, 耐用性: 3.0, 対応性: 4.0	生物環境: 3.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 2.5

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 2.8

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 2.5	LR2のスコア = 3.1	LR3のスコア = 3.0
建物外皮の: 2.0, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 3.0, 効率的: 3.0	水資源: 3.0, 非再生材料の: 3.2, 汚染物質: 3.3	地球温暖化: 3.1, 地域環境: 3.0, 周辺環境: 3.0

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	工業専用地域に位置した敷地は西側に鹿島川、東に河口があり、周囲への影響も少ない立地である。工場設備増強のために既存の建物に倣い増築した。	その他
<b>Q1 室内環境</b>	用途上、特に断熱性能の優れた外皮(外壁)としていないが、開口を極力減らした設計とし内部環境に配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b>
<b>LR1 エネルギー</b>	エネルギー消費量のモニタリングに配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b>
		<b>LR3 敷地外環境</b>
		<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される